

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 8月 6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189-6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	平成25年5月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年6月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・地域密着型グループホームを目指すと共に、自然と触れ合いながら質の高い介護サービスを提供し、要介護状態の軽減と悪化の予防に最善を尽くしています。
・地域行事への参加や、馴染みの場所へのドライブなど地域資源を活用し今までの暮らしが途切れない支援を行っています。
・家庭的な雰囲気の中で日常の生活を皆で支え、楽しく過ごして頂けるよう支援しています。
・当施設は広くゆったりとした作りで、ホールからテラスに出ると、野菜畑や海が眺められ、美しい夕日や夜景も楽しめます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【理念と地域交流】
・理念のほかに事業所の目標と誓いの言葉を掲げ、「支え合いながら自立して生きる」ことの実現に向けて事業所と地域とが交流を深められるよう努力を続けている事業所である。
・グループホームは、第二の我が家であることから職員もストレスを感じないために、職員がお互いの気持ちを共有し合い、随時話し合いのできる関係が築かれている。

【受診支援】
・入居後もかかりつけを受診できるよう、家族と職員が協力し合い、受診を支援しており、日頃の体調を記録する『状態一覧表』と看護師の気付いたことなどを医師に伝えるようにしている。
・受診の内容は『申し送りノート』と『個人経過表』に記録しており、職員が情報を把握しやすいよう『フォーカス項目』を設けるなど、重要事項が一目で把握できるような書類の工夫もされている。

【食事の工夫】
・旬の素材を使ったメニューや季節ごとの行事食、また新しい入居者が加わった時の歓迎パーティーや退院祝いなど、大切な場面を楽しい食事でもてなす配慮がなされており、入居者一人ひとりが家族の一員であるという意識で、温かな心配りが感じられる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	見えやすい所に理念を掲げ、毎朝朝礼時確認している。地域密着型サービスを管理者、職員は常に意識し実践に取り組んでいる。	理念のほかに事業所の目標と誓いの言葉も掲げており、地域交流はもちろんのこと「楽しく過ごせる環境」や「支え合いながら自立して生きる」ことについてうたっており職員が一丸となって取り組んでいる。また、理念や目標と現状のケアについて日常的に話し合いふり返りながら、日々の実践に反映させている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の催し物や奉仕作業等に参加している。散歩や買い物に出かけ地域の方と挨拶や会話を交わし日常的に交流を深めている。	自治会に加入し地域の奉仕作業に参加している。また、地域行事である節句祭りや文化祭・運動会、地域の小学校の運動会などに参加している。散歩や買い物に出かけた時など、地域の方と日常的に挨拶や言葉を交わしており、時に味噌や野菜などの差し入れを頂く間柄にある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行っている。夏祭りや健康体操等の催しの際は、ポスターや案内状を出し参加して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政や地域住民の参加で定期的に会議を行っている。ホームの現状報告や外部評価の結果、要望等資料を添えて行い意見や提案も多くサービス向上に生かしている。	2ヵ月毎にある会議では、市議や市役所職員、公民館長や消防団員、家族代表らが参加しており、事業所の取り組みなどの活動報告や外部評価の報告等行なっている。会議に参加した元赤十字職員の講話やアドバイスを受け、実際に避難訓練に取り入れ実施するなど具体的に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者とは、事務手続きの他、報告や相談を行い助言をもらっている。市主催の勉強会等も積極的に参加し、協力関係を築いている。	運営推進会議や毎月開催している市主催の勉強会、大隅地区の勉強会に参加していることもあり、日頃から行政とは連携がとれ良好な関係である。また、介護保険関係の書類提出や相談事のために市役所を訪れることも多く、その際に事業所の現状や暮らしぶりについて報告するなど積極的に連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し勉強会を行い全職員が身体拘束の具体的な行為を理解しケアに取り組んでいる。昼間は玄関のカギはせず、利用者は自由な生活を過ごされている。	身体拘束廃止については、重要事項説明書に明記しており、マニュアルも準備している。年1回程度の外部研修と2ヵ月に1回はミーティング時に内部研修を行なっている。言葉遣いや使い方について話し合い、「待つて」等言葉による拘束についても職員間でお互いに声かけし合うなど気をつけている。長時間同じ場所にいることも拘束になるため、気配り目配りして、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待の勉強会を行い、全職員が理解している。入浴時あざや傷が無いかな観察し虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護と青年後見制度について勉強会を行い、玄関に大きなポスターを貼り、必要があれば、活用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書や契約書をもとに十分な説明を行い、不安や疑問点意見等も伺い理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見書の設置をしている。利用者や家族が外部に意見を表せる方法や機会も説明している。家族会や運営推進会議、面会時に意見伺っている。	事前にアンケート用紙を配り、家族会の開催時利用者や家族からの意見を話し合っている。思いをうまく伝えられない方については、家族訪問の機会に詳しく聞き取り、把握した内容は支援経過や介護計画に挙げている。職員の異動に関しても家族から意見が出されたら十分に尊重し、出来る範囲で運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員からの日々の意見や提案は連絡長を利用し早急な対応に役立っている。代表者や管理者はミーティングや機会ある事に職員の意見や要望を聞くようにし運営に反映している。	職員からは日頃からよく意見が出され、年に数回開催している食事会やミーティング等でも意見を聞いている。職員の異動や勤務体制についても職員に意見を求め管理者との話し合いや毎月の管理者会議で話し合い調整しており、その他の意見や提案も十分汲み取り運営に反映させるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者や職員個々の努力や実績等把握し、各自が向上心を持って働ける様、職場環境条件の整備に力を入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は介護の質のレベルアップを重要視され、研修への参加や、資格取得を勧めている。また職員を育てる取り組みも実践している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の勉強会や、大隅地区連絡協議会に加入し交流会も行いサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>早期に本人の安心を確保するため、入所前に必ず本人との事前面談を行い、心身の状態や生活状況等を全職員が把握し安心できる関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申込時 これまでの介護の状況・家族の悩みを傾聴し労をねぎらいながら共感する事で関係作りを行い不安解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時の本人や家族の状況を確認し、現在必要としている支援を見極め、その方に合った支援が受けられるよう対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は介護するという一方的な考えをもたず、利用者様と家族的な暮らしが築けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月の便り 電話等で利用者の様子をお伝えし、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支える関係作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友達など面会しやすい雰囲気作りを心がけ、本人が大切にしている人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	垂水市が作成した『安心ノート』に本人を取り巻く人間関係や馴染みの人や場所等の情報を記載している。職員が個人の要望を汲み取り、車いすの方でもドライブがてら家族の自宅に訪問したり、家族の協力で泊まりがけの旅行に出掛けるなど、これまでの人間関係を大切にし、ホームで出来る支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し状況に合わせ座席の配置を工夫し、孤立しないで利用者同士が支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後も、必要に応じて面会したり、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の言動や表情 素振りから意向を汲み取り、困難な場合は職員間で検討し、本人本位のケアに努めている。	本人の思いは、『フェースシート』と『安心ノート』に記載しており、思いをうまく伝えられない方には、日頃の言動など様子から把握するとともに答えやすいよう二者選択で聞き取るなど、本人の思いを詳しく聞き取る努力をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方など、本人家族からお聞きし全職員で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの現状に目を向け心身状態や出来る事出来ない事の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望や意見を取り入れ、各関係者の気づきを反映した介護計画を作成し、現状に即して見直しを行っている。	入居者や家族の思いを優先させた介護計画になるよう、主治医の意見も参考にしながら関係者全員で話し合い作成している。『プラン計画実施表』に計画内容が実行されているか毎日記録しており、毎月のミーティング時に入居者個人の現状を確認し、3ヵ月に一度モニタリング表に落とし込んで、常に現状に即した介護計画であるかふり返り、見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活や行動、気づき等個別記録に記入し、申し送りやミーティング等で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者様一人ひとりの家族の状況やニーズに対応して、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や市報、回覧等を活用する事で地域資源を把握し安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医の定期受診、訪問診療等、適切な医療を受けられるように医療機関や家族と連携を取っている。	入居者の希望するかかりつけ医を『医療体制』用紙にまとめ、入居後もかかりつけ医の受診ができるよう家族と事業所が協力し合い、行っている。受診時には『状態一覧表』と看護師の気づきを記した日々の様子等を医師に伝え、受診内容や結果は申し送りノートと『個人経過表』に記録している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の利用者の状態の変化を密に記録に残し申し送りにて報告相談し、利用者一人ひとりに適した看護、受診が出来るよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から医療関係者との情報交換、相談を行っている。入院時は、利用者家族、医療関係者、事業所との情報交換を密に行い安心して治療が出来るように心がけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化、終末期に関する方針を説明し、日頃の会話の中から本人の意向を聞き取っている。重度化した場合医療関係者との連携をとり、早い段階で利用者家族の意志を尊重し事業所は現状を見ながら最も適した介護支援を行っている。	入居開始時に『重度化した場合の対応に係る指針』にて看取りについての説明をしている。外部・内部での看取りに関する研修に積極的に取り組み、同系列事業所のグループホームで開催された看取りに関する勉強会にも多くの参加があった。現状に即して、入居後も入院など状態変化時に終末期のことについて再度、家族・本人の意向を確認したり、今後は家族会でも説明する機会を持ち、重度化や終末期の介護について共通理解を深める方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、定期的に救命講習を受講している。緊急対応マニュアルを整備し過去の事例を参考にしながら勉強会等で学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震、水害等の災害発生に備え、定期的に避難訓練を行い記録に残している。災害時の協力体制を築くため地域の方々との交流を深めている。</p>	<p>マニュアルを基に夜間想定を含む避難訓練を年2回実施しており、津波を想定した避難訓練や避難経路の確認も入念に行なっている。桜島が近いこともあり、地区の避難訓練も多く、地域住民と協力し合いながら訓練を実施している。米や飲料水、レトルト食品を備蓄しており、ラジオやランタン、毛布など備品は取り出しやすいよう玄関に保管している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者様一人ひとりに合わせた声かけを行い、特に排泄や入浴の更衣時には誇りやプライバシーを損ねない声かけを心がけている。	『プライバシー保護の取り扱いマニュアル』を作成し、定期的に研修会を開催している。排泄時はあからさまな介護にならないよう声かけの仕方や声のトーンに配慮したり、周囲から見えないようカーテンを付けるなどして対応し、排泄チェック表の管理にも十分配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から利用者の思いや希望に添えるように心がけている。利用者に二者選択法など、自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースを大切にしその日の体調も見ながら、起床、レクリエーション、就寝時間など希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた服装や、本人様の好みを聞きながら、その方らしい身だしなみやおしゃれが続けられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域の方に頂いたり、菜園で作った野菜の下ごしらえを職員と一緒に作り料理している、行事食、外食も行い食欲の無い方への興味や意欲へとつなげている。	調理の下ごしらえなど入居者と職員が共に行なっており、旬のものを使ったメニューや季節行事に合わせたメニューを取り入れ、入居者と職員が会話を楽しみながら同じものを一緒に食べている。食事摂取の困難な方には食事を工夫するなどおいしく食べられる努力を続けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様一人ひとりの状態に応じた対応をし、食事、水分摂取量を記録し職員で共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、一人ひとりに合わせた介助を行なっている。義歯等夜間で洗浄剤を使用し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレの声かけ、誘導介助を行い、失敗を減らしていく事で布パンツを使用していけるように支援している。	『状態一覧表』と『水分と排泄ノート』により排泄チェックを行ない、便と水分摂取量の関係にも留意しながら様子観察を行なっている。利尿剤が処方されている場合は特に気をつけて様子観察を行なっている。パットやリハパンツの組み合わせなど個人に応じた支援ができるよう介護計画に組み込み対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や乳製品、水分摂取に努め、適度な運動を行い、腸を刺激し予防改善に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を楽しめるように個々に応じた雰囲気作りに努めている。入浴を拒む利用者様には、タイミングを見て言葉かけや対応に工夫した入浴支援をしている。	本人の希望に応じて入浴できるようにしており、同性介助にも配慮した入浴を支援している。事業所内にゆずの木があるため、冬至にはゆず湯を楽しんでいる。入浴を拒む方については、本人の興味のあるものを浴室内に飾り付けるなど工夫しながら入浴支援につなげている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や生活リズムに合わせて、安心して気持ち良く眠れるように心がけ、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、用法、用量を理解し、誤薬がないように声だし確認を行っている。副作用についても理解し症状の変化にすぐ気付くように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々楽しく過ごして頂けるように、日々のレクリエーション、ドライブ、散歩などを行い気分転換を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候を見ながら、一人ひとりの体調や希望に添って、地域の催し物やドライブ、散歩などを取り入れ支援している。普段行けないような場所にも、職員や家族の協力を頂いて出かけている。	花見や祭り、そうめん流しなど『年間行事計画』に合わせた外出のほかに入居者の希望に応じて外出できるよう支援している。外出の困難な方にも外出を楽しんでもらいたいとの思いから、同系列事業所から車いす対応車を借りて外出している。外出を拒む方については、外出したくない理由を探り、可能な支援を検討し、無理のない外出につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様一人ひとりの希望に沿った買い物が出来るように支援している。お金の管理が出来る方は、ご自分で財布を持ち管理されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に応じて電話をしたり、かかってきた電話で自由に話され又、個人の携帯電話を使用されている方もおられ、やり取りが自由に出来るように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井も高く、明るい広々としたホールの心地良い空間の中で、テラスに出たり、野菜畑や夕日を眺め、くつろいで過ごされている。	フロアの天井は高く開放感があり、床全面にクッション性の高い素材を使用することで転倒への配慮がなされている。空調にもこだわり、温湿度計でフロアや室内の状態を把握し、快適な室温になるようエアコンで調整している。トイレは車いすの方や介助者が介助しやすいスペースを確保しており大変使いやすいものとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、自由に過ごせ気の合った利用者様同士で談話されている。独りになりたいときは自室に戻られたり、テレビ鑑賞やカラオケ等皆さんで楽しめるような居場所を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真や、使い慣れた寝具、着なれた衣類をご家族が用意され、居心地良く過ごせるように工夫している。	各居室にはベッドとエアコン、クローゼットと洗面台が備え付けられ、一部トイレ付の居室もある。部屋の飾り付けは、本人と家族、職員が一緒に行なっており、本や大正琴など入居者の思い出のものを持ち込むなど自室として居心地良く過ごせるよう環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活が送れるように障害物を取り除き、安全に過ごせる広い空間を作っている。「できること」「わかること」を把握し、一人ひとりを支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない